

## 3-3

松本城の城主(1) 小笠原氏・<sup>さきの</sup>前戸田氏

石川氏が改易され、慶長18年(1613)小笠原秀政が入封します。その後、元和3年(1617)戸田康長が松本城の城主となりました。今回はこの二氏についてお答え下さい。

1 小笠原<sup>ひでまさ</sup>秀政は松本8万石の領主として入封<sup>にゅうほう</sup>しますが前任地<sup>どここ</sup>は何処でしょう。

- ① 高崎                      ② 飯田                      ③ 古河                      ④ 三河吉田

2 小笠原秀政が足掛け4年間の在任中に行なったことを二つ選びなさい。

- ① 鎌田にあった天満宮<sup>みやむらだいみょうじん</sup>を宮村大明神の境内に城下<sup>かご</sup>の加護を願って移した。  
 ② 六九町に馬屋を作り軍馬の育成をした。  
 ③ 伝馬役<sup>てんまやく</sup>を定めて中山道や善光寺道の宿駅の設定を行なった。  
 ④ 農民の土地を一筆ごとに測量<sup>けんちちよう</sup>して検地帳<sup>ねんぐせいど</sup>を作り年貢制度を確立した。

3 大坂夏の陣において小笠原<sup>ひでまさ</sup>秀政と長男忠脩<sup>ただなが</sup>が天王寺<sup>てんのうじ</sup>の戦いで戦死します。



大坂夏の陣図屏風(「大阪城天守郭蔵」)より 小笠原氏の三階菱が見える

秀政<sup>ただなが</sup>と忠脩<sup>くようとう</sup>の供養塔は現在松本市浅間温泉御殿山<sup>ごてんやま</sup>の大隆寺跡<sup>だいろうじあと</sup>に貞享3年(1686)水野忠直<sup>じゆうきやう</sup>によって建てられた五輪塔ともう一箇所あります。そのお寺を答えなさい。

- ① 正安寺                      ② 廣澤寺                      ③ 極楽寺                      ④ 玄向寺

4 秀政のあとは大坂の陣で重傷をおった忠政<sup>ただまさ</sup>が継ぎます。忠政が大坂夏の陣に出陣するとき乳母<sup>うば</sup>が城から追いかけてきて忠政に思いとどまるように袖<sup>そで</sup>にすがって離しませんでした。しかし、忠政は両袖を振り切って出陣したという話が伝わっています。その場所を「袖留橋<sup>そでどめばし</sup>」と呼んだとされますが、現在の何処<sup>どここ</sup>でしょう。

- ① 本町5丁目と博労町の境の緑橋<sup>みどりばし</sup>のこと      ② 現在の千歳橋<sup>せんざいばし</sup>のこと      ③ 現在の<sup>おおはし</sup>大橋のこと

5 忠政は後に忠真と名を代えますが、元和3年(1617) 2万石加増されて松本から転封します。次の内から転封先をえらびなさい。

- ① 小倉 ② 松江 ③ 佐倉 ④ 明石

6 元和3年 戸田康長が7万石で高崎から松本に入封します。康長の室は家康の養妹「松姫」ですが、下の写真の内松姫の肖像画はどれでしょう。(松姫は二連木で24歳で死去)



①



②



③

7 戸田康長の時、大天守6階の井桁梁の上に天守の守り神の社をまつりました。この祭神の名前を答えなさい。

- ① 二十三夜様 ② 稲荷大明神 ③ 二十六夜神 ④ 十三夜様

8 康長は正室松姫との間に一男一女をもうけます。しかし長男は体が弱く40歳で元和5年松本で死去しました。康長の長男の名前を答えなさい。(康長のあとを継いだのは側室との間に生まれた康直でした。)

- ① 永兼 ② 忠光 ③ 光清 ④ 光重

9 康長は永禄5年(1562)の生まれですが松本城主となったのは何歳のときでしょう。

- ① 66歳 ② 56歳 ③ 46歳 ④ 36歳

10 戸田康長は松本城中で死去しました。

その墓(右写真)を丹波塚と呼んでいます。現在、墓はどこにあるでしょう。

- ① 松本市 戸田廟園内  
② 岐阜市加納 智勝院廟所内  
③ 東京都 染井墓地内

